

びわこ大なまず通信

第1号

平成16年7月15日
びわこ惑惑クラブ

発刊のことば

～新しい歩みに祝福を！～

びわこ惑惑クラブ会長 雲川 昂

新しくクラブの機関紙が誕生した。
われわれはラグビーをこよなく愛する者たちの集いであるが、”本業”以外で、このように親交と情報発信の場を持つことは、それだけわれわれの活動も充実してきたとしみじみ実感している。

その昔、クラブ誕生から間もないころ、一時的にこんな形ができたかに見えたが、ほどなく頓挫した。10周年の節目を迎えるころから、クラブ員相互の連帯に一段と厚みが増し、10周年の記念誌を発刊し、記念事業も大過なく実施でき、さらにまたこのような企画も組織的に動き出した。

『びわこ』からチーム内外に情報を発信して、親睦と交流の輪を広げるとともに、ぜひ継続して皆でわれわれの活動のもう一つの柱に育てていきたいものである。



10周年記念事業
2002年10月
ニュージーランド遠征
(クライスチチャーチFCと)



10周年記念誌

楽しいプレー

監督 石塚 広和

入部4年目で生意気かもしれませんが、本年度より監督に就任し一所懸命がんばりますので、バックアップ方よろしくお願ひいたします。

年頭に会長が示されました「H16年度取り組み方針」に則り、クラブの活性化に努力したいと思っております。

私なりに当チームのコンセプトは「ラグビーを愛し、会員相互の親睦をはかり、試合を通じて外部の親交をはかる」と勝手に解釈しております。親睦と親交は本人次第で達成できますが、まずはラグビーを愛するために何をしなければならぬかを考えてみました。

一番の近道は試合に勝つことですが、相手との年齢差、試合メンバーが固定されないこと、個々の技量の差等々を考慮しますと、かなり難しい問題が山積されております。

ラグビーは球技スポーツの中で選手が30人と多く、一人のレフリーで競技を進めるものであり、その中で一人ひとりが自分の役割、自己責任等を全うしなければなりません。

1. 基礎体力の維持・強化 他人には迷惑をかけず、逆にチームメイトをかばうこと
2. 自己向上意欲の増進 何が自分に足りないかを自覚し練習に励む
等を念頭に、更なる個人の切磋琢磨が必要だと思ひます。
3. 試合に勝つ 戦略・戦術を確認し、全員が参画意識を持ちながら試合を進める
4. 意識の高揚 練習のための練習ではなく、試合のための練習
等でチーム力を向上し、サイドアタックなりサインプレーが決まり、トライに結びつくと大変楽しい試合ができるものと思ひます。

いずれにしましても、明るく・怪我なく・元気よく・仲良くラグビーをプレーするチームづくりに尽力いたします。



瀬田北中学合同練習に感謝

本郷 傳

故西田幸雄先生が瀬田小学校で、日本で初めてのラグビースクールを創設されて35年が経過した。当時私は、高校生。創設間もないスクールに高校で使い古したボールを届けたことを覚えている。

何年かが過ぎ、新婚時代に先生よりスクールを手伝うよう依頼され、毎週日曜日にちびっこラグビーをすることとなった。以来27年が経過した。スクールに行くようになって間もなく、協会や多くの方々の尽力により、瀬田中学に滋賀県で初めてラグビー部ができた。

数年後瀬田地区の人口増に伴い、瀬田北中学が新設され、そこにもラグビー部ができた。当時、スクールの生徒も多く、したがって中学でも部員は多くて優れたプレーヤーを県下、県外の高校に送り込んだ。

しかし、ラグビー人気の低迷とともに、スクールの生徒が減り、中学でも部員が減りつづけた。数年前、瀬田中学ラグビー部が廃部に追い込まれた。瀬田北中学でも、ラグビー経験者の顧問の先生が転勤され、指導者不在の状態になった。

そんな中、中学の父兄、生徒に依頼され、週末だけのコーチを引き受けた。惑惑クラブの協力も得られ、月1回の合同練習が実現した。生徒たちも、惑惑クラブとの練習を楽しみにしている。

瀬田地区でラグビーの灯が消えることがないようにご協力を切にお願いしたい。惑惑クラブとの練習で生徒たちが、スキルの向上は勿論のこと、ラグビーというスポーツが、素晴らしい仲間と生涯を通じて楽しめるスポーツなんだと理解してくれたらこんな嬉しいことはない。



写真は瀬田北中ラグビー部とびわこ惑惑クラブの合同練習風景

最近の活動状況

1. H16年4月～6月、3ヶ月のクラブの活動は次のとおりである。

試合日	対戦相手	場 所	参加人員
H16. 4.18	富山惑惑クラブ	長浜・神照運動公園	23名
H16. 5. 2	関西不惑ラグビーフェスティバル	大坂・花園ラグビー場第2G	26名
H16. 5.23	金惑クラブ、福惑クラブ	長浜・神照運動公園	19名
H16. 6.20	三重惑惑クラブ、伊丹迷走クラブ	四日市緑地公園	21名

2. 予定：H16年8月22日(日) 西京都クラブ(亀岡運動公園)

会計からのお願い

年会費未納の方は、至急納入願ひます。

一方、海外遠征のための積立も限られたメンバーのみ実施されています。一度の出費を考えますと時間をかけて積立てられることをお勧めします。

編集後記

H16年度から広報担当となり、最初の仕事として「びわこ大なまず通信」を発行することになった。今後、3ヶ月に1回の頻度で情報を発信していきたい。会員皆さんの投稿に大きな期待を寄せている。いい情報誌になるように努力したい。
(広報担当：松田)